



# 楠隼中学校・高校だより

## 全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

### 特別号 第5回体育祭

9月7日、第5回体育祭を行いました。あいにくの雨模様でしたが、降りしきる雨にも負けないう熱気で、会場は大いに盛り上がりました。

小雨が降りしきる中、開会式が行われました。高校の生徒会長の坂元直英君は、天候回復の願いを込めて「今から晴れるよ」と高らかに宣言しました。開会式終了後には応援合戦を行い、応援団員は雨雲を吹き飛ばす程の気合いと大声で、会場を盛り上げてくれました。

応援合戦終了後は、各学年のプログラムが実施されました。特に盛り上がった種目は、高校3



年生の種目でした。生徒たちが各々の仮装で校庭を一周したあと、障害物競走と借り物競走を行いました。借り物競走のお題は「お母さん」でした。会場のどこかにいる自分の母親を見つめる為に、高校3年生たちは大きな声とジェスチャーで母親を探し、校庭内に招き入れました。母親たちは、突然の事態に驚きながらも、皆笑顔で生徒の元へ駆け寄っていきました。親子で手をつないで校庭内で輪になり、曲に合わせてフォークダンスを踊りました。実は、この企画は高校3年生から母親へのサプライズ企画として実施されたものでした。全寮制の楠隼においては、保護者と共に過ごす時間は限られています。生徒たちも保護者の方々も、お互いに「会いたい」とい



う気持ちを抱きながらも、その気持ちを抑えながら生活しています。だからこそ、直接会って感謝の気持ちを伝える機会として、今回のサプライズ企画を実施しました。雨が降りしきる中でしたが、会場内は笑顔と温かい気持ちに包まれました。

高校3年生の企画以外にも、白熱した種目が続きました。中学1年生の自頭流の披露では、雨による寒さにも負けず、大きな声と凛とした立ち振る舞いで、木刀を振り続けました。高校1・2年生の徒競走では、各組で速さを競うだけではなくユーモアを競い合いました。中学生の全員リレーでは、3年が先輩としての意地を見せつけ、堂々の1、2位でフィニッシュ。2年生も中堅学年として、一時は3年生を追い越す活躍を見せました。1年生も、小学生の時とは違う体つきと表情で、保護者の方々に成長を見せることができきました。そして、最後の種目となった綱引きでは「チエストー!」「姿勢を低くしてー!」などの歓声が上ががり、この日一番の盛り上がりを見せました。

雨の中で行われた体育祭でしたが、晴天時にも匹敵する盛り上がりを見ることができました。来年こそは晴天にも恵まれ、保護者の方々や地域の方々に今年度以上の盛り上がりをお見せすることができるとを願っています。

